

「解答例」

選抜区分

平成31年度 (選抜区分：一般選抜前期日程)

法学部 (科目名：小論文)

問題1 (標準的な解答例)

一般に、集落機能の低下が行政サービスの低下を招き、地域維持を困難にしている、と考えられている。とくに近年、選択されない地域には公共事業が配分されなくなるという「選択と集中」の方針が採られようとしている。しかしながら、その背後にある、効率性・採算性という発想により、過疎地域から行政サービスをカットするのは危険である。仮に、効率性・採算性を追求するとしても、大規模地域が効率が良いというのは見かけだけに過ぎず、実際には多くの経費がかけられている。一方で、過疎地域は自立的な面が強く、地域自身で解決することができるためコストのかからない領域がある。そもそも行政サービスは、集落で担ってきたものではなく、自治体が担うべきものであり、人々の暮らしや経済のために必要だから、公共の名の下に確保されるものである。人口減で自治体規模が縮小しても、日本全国どこでも同じ水準の暮らしが維持されなければならない。

問題2 (出題の意図) 別紙